

メールにいがた



第 106 号 2014 年 2 月
新潟県点字図書館だより

今号の内容

1 お役立ち情報 3ページ

- 新潟県視覚障害者福祉協会から行事などのお知らせ
- フィリピン台風により被災した視覚障害者支援のため、義援金を募集しています
- アート・ミックス・ジャパンのご案内
- 第 12 回盲導犬宿泊体験セミナーのご案内

2 図書紹介コーナー 7ページ

- 図書選定委員 斉藤 五月さん（燕市）の図書紹介
「ランチのアッコちゃん」 柚木 麻子著

3 功労表彰などの受賞者の紹介 8ページ

- 第4回青少年フィランソロピスト賞・奨励賞（第16回まちかどのフィランソロピスト賞・青少年部門）
- 第8回新潟出版文化賞・選考委員特別賞（新井満賞）
- にいがた市民文学 文学賞

4 連載・新潟県点字図書館のあゆみ 9ページ

- 「私と新潟県点字図書館 第 12 回」

5 12月・1月登録の新刊製作ボランティアの紹介 11ページ

- 点訳 25 名、音声訳 17 名、デイジー編集 6 名

6 点字図書館から 12 ページ

- 寄贈を受けた図書を紹介
- 第 150 回 芥川賞・直木賞受賞作の貸出予約を受け付けています！
- 「メールにいがた」別冊「新刊案内」の掲載順等が一部変更されました
- 図書増加目録及び雑誌一覧の提供方法変更のお知らせ
- 最新版の「図書増加目録」及び「CD雑誌一覧」発行のお知らせ
- 平成 26 年度のデジタル音声再生機（プレクストーク）貸出し手続き（新規・更新）のお知らせ
- 不要になった書換え可能な CD（CD-RW）のご提供・ありがとうございました！

7 Q&A 17 ページ

Q：返却期限を超えて長く CD 雑誌を借りた場合、点字図書館ではどのような支障が生じますか？ また、返却期限はどのくらい延ばしてもらえますか？

Q：点字図書館から借り使用しているプレクストークが、故障した場合の修理費の負担は？

8 開館及び電話受付時間と 2～4 月の休館日 18 ページ

巻末 「日常生活支援機器情報コーナー no.10」

「混乱時の情報取得」

記字掲載ご協力 株式会社ラビット 代表取締役 荒川明宏 様

※1 新刊案内（12～1 月分）は別冊

点字 36 タイトル、音訳 54 タイトル

※2 県内主要文化施設の催し紹介（2月下旬～4月中旬）の

点字版及び墨字版は別冊、録音版は本編の最後に収録

1 お役立ち情報

●新潟県視覚障害者福祉協会から行事などのお知らせ

新潟県視覚障害者福祉協会が実施する主な行事等をお知らせします。

お問合せ、申込みは視覚障害者福祉協会事務局へ

TEL 025-381-8130 FAX 025-381-8120

(1) お茶を飲みながら情報交換～ふれあい・いきいきサロン～のご案内

昨年4月から、毎月第1と第3木曜日に新潟ふれ愛プラザで開設している、ふれあい・いきいきサロンの3月開設日のお知らせです。

期日：3月6日（木）、20日（木）

場所：新潟ふれ愛プラザ2階「ミーティングルーム」

(2) 見えない・見えにくい方セミナー開催のお知らせ

地域で暮らしている視覚障害者が普段の生活や仕事で、見えない・見えにくいことで生じる問題を、どのように捉え解決しているか、体験発表を通して、その工夫などを参加者が共有します。

期日及び日程：3月23日（日）

★受付 午前9時30分～

★開会 午前10時25分～

★体験発表 午前10時30分～正午

生活訓練関係の体験発表2名、就労関係の体験発表1名

★機器展示体験 正午～午後3時

日本盲人会連合、インサイト、三菱電機住環境システムズ（予定）の協力による、日常生活用具、情報機器、住環境機器の展示及び試用体験等

★更生相談 午後1時～午後3時

視覚障害者福祉協会松永理事長及び山口生活訓練指導員による相談

場所：新潟市亀田駅前地域交流センター 多目的ルーム、会議室等

(3) 災害へのアドバイス（東日本大震災に学ぶ研修会より）

昨年11月24日（日）に「東日本大震災に学ぶ研修会」を開催しましたが、東日本大震災を体験された講師のアドバイスを次に紹介します。日頃から災害に備えておきましょう。

★日頃から近所との付き合いを大切に

★備えが必要なもの

地震保険への加入、ツッパリ棒などによる家具の転倒防止、カップ麺やお菓子等の日持ちする物の買い置き、飲料水、携帯電話とその充電器、補助充電器、携帯用トイレの備え

(4) 冬のあったか商品のご案内

冬・真っ最中です。寒さを和らげるあったか商品を紹介します。購入を希望される方は、次により事務局へお申込み下さい。なお、この商品は冬季限定商品ですので、卸業者の在庫がなくなり次第終了となりますことをご了承ください。

申込み方法等：2月20日（木）までに、商品名、購入希望数、郵送先を事務局へお申込みください。

商品の発送までの手順等：

- ・ お申込みいただいた商品は、日本点字図書館から直接送付されます。
- ・ 日本点字図書館の商品発送に合わせ、事務局から所要金額（商品代金及び商品送料を合算した金額）、振込者名等を記載した振込用紙（郵便振替用紙）が送付されます。
- ・ 送付された郵便振込用紙で所要金額をご入金ください。入金の際は、郵便振替手数料のご負担をお願いします。

★ポケット付腹巻女性用ピンク フリーサイズ 価格 1,160円

遠赤パワーで保温力抜群！東洋紡の「セラムA」という遠赤系を使用しています。綿混素材なので、肌ざわりが良く遠赤パワーを発揮。冷えに悩む女性の必需品です。ポケット付ですので、カイロを入れることもできます。

★男女兼用腹巻シルクオフホワイト（Mサイズ、Lサイズ）

価格 各 1,510円

シルク繊維の入った肌触りの良い腹巻です。シルクは繊維と繊維の間に多量の空気を保つことができ、優れた保温性を保ちます。また通気性にも優れているので、身体から放出された水分も吸収・放出されるので快適な着け心地が得られます。

★乾度良好さらさらバスマット 価格 2,080円（ベージュ、ピンク）

体を拭いたり着替えたりするうちに、バスマットの上がどんどん濡れ、湯冷めを加速……。そんな不快な冷たさを解消してくれる、さらさら・ふかふかと足を包んでくれるバスマットです。

冬に限らず1年を通していつでも気持ち良くお使いいただけます。

★ぽかぽかフットヒーター 価格 6,580 円

遠赤外線カーボンパネルを採用した新しいタイプのフットヒーターです。体の芯から暖めてぽかぽか。靴を履いたままでも使用OK！職場のデスク、勉強部屋、食卓、ドレッサー、トイレなどの足まわりに最適です。自動電源 OFF など安全機能も搭載。省エネ設計で電気代は1時間あたりわずか0.5円。血行が悪いと感じる方、足元の冷えにお悩みの方におすすめの商品です。

●フィリピン台風により被災した視覚障害者支援のため、義援金を募集しています

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、海外から多くの支援をいただき、互いに助け合うことの大切さを学びました。この教訓を活かし、昨年11月に台風30号により甚大な被害を受けたフィリピンの視覚障害者の方々への義援金を募集しています。

義援金は、日本盲人福祉委員会を通じて、フィリピンの盲人協会等の団体へ贈られます。

義援金募集期間：平成26年2月28日（金）まで

義援金募集方法：下記の郵便振替または銀行振込口座への振込み

①郵便振替口座：00170-9-48326

名義：社会福祉法人日本盲人会連合

（通信欄にフィリピン義援金とご記入下さい。）

②銀行振込口座：みずほ銀行 高田馬場支店

普通 口座番号2882562

口座名義（フク）ニホンモウジンカイレンゴウ

問合せ先：社会福祉法人日本盲人会連合 組織部

〒169-8664 東京都新宿区西早稲田2-18-2

TEL 03-3200-0011 FAX 03-3200-7755

E-mail jim@jfb.jp



●アート・ミックス・ジャパンのご案内

一流を気軽に楽しむ新潟の和の祭典、今年の春も「りゅーとぴあ」をメイン会場に新潟市内の様々な会場で、有料 21 公演、無料4公演が予定されています。

開催日時：4月5日（土） 午前10時～午後8時

4月6日（日） 午前10時30分～午後9時

開催会場及び主な公演内容：

★りゅーとぴあ「コンサートホール」

にいがた総おどりジュニアステージ、お子様と一緒に楽しめる無料公演など

★りゅーとぴあ「劇場」

手影絵、神楽、和太鼓、ピアノと和楽器、日本舞踊、落語、にいがた総おどりなどの公演

★りゅーとぴあ「能楽堂」

人形浄瑠璃、ソプラノと四重奏団（日本の春の歌）、歌舞伎、狂言、能等の公演

★燕喜館

2組の和楽器ユニット、津軽三味線、三味線などの公演

★行形亭（料亭）

お食事と楽しむ文化サロン（料亭の食事を楽しみながらの公演で、5日、6日とも限定20名）

有料公演会場の入場料：1,500円～3,000円（全席指定）、行形亭のお食事と楽しむ文化サロンは20,000円

問合せ先：新潟総踊り祭実行委員会事務局

TEL 025-383-6630 FAX 025-255-1333

E-mail info@soh-odori.net

●第12回盲導犬宿泊体験セミナーのご案内

公益財団法人北海道盲導犬協会では、3月に盲導犬宿泊体験セミナーを開催します。

盲導犬との体験歩行、手入れ、排泄などの管理体験や、現役盲導犬ユーザーとの交流会等を1泊2日の日程で行い、盲導犬に対する知識・理解を深めていただくものです。

日時：3月22日（土）午後1時～3月23日（日）午後3時
会場・宿泊先：北海道盲導犬協会（協会の最寄り駅や新千歳空港までの送迎が可能です。）
参加対象者：15歳以上の視覚障害者（お一人での参加が不安な方は、同伴の方も参加可能です。）
参加費：本人、同伴者共に無料（往復の交通費は自費負担）
募集人員：6名
申込締切日：2月28日（金）
申込方法：電話、ファックス、郵送等でお申込みください。
申込先・お問合せ先：
公益財団法人 北海道盲導犬協会 担当・相馬
〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715
E-mail k-souma@h-guidedog.org

2 図書紹介コーナー

「ランチのアッコちゃん」 柚木 麻子著 双葉社（2013年4月）

図書選定委員 斉藤 五月さん（燕市）

タイトルから「ひみつのアッコちゃん」のようなかわいらしいアッコちゃんが登場するお話と思いきや、全く違う、長身で男勝り、厳しくてちょっと怖い上司「アッコさん」。

色々あって元気がない主人公、三智子のもとに、「1週間、私のお弁当を作りなさい。」と、指令が！その後はアッコさんが色々なランチを用意してくれるのですが、そのおかげで三智子は元気を取り戻し、成長し、自立もしていきます。

この上司のアッコさん、言葉はきついですけど部下をしっかりと見てくれ、心配もし、慮ってくれている人…。三智子はアッコさんの心遣いとパワーで、孤独で寂しかった気持ちが癒されていくのに気が付きます。

表題作ほか、4つの短編からなる一冊で、お弁当やほかのお料理の描写でヨダレが出そうになる、読んでおいしく、あたたかい短編集です。

点字2冊、デイジー4時間18分

3 功労表彰などの受賞者の紹介

●第4回 青少年フィランソロピスト賞・奨励賞

12月11日

《視覚障害者・当館利用者》 佐藤英里（さとうひらり）さん 三条市

個人や企業・団体のフィランソピー（社会貢献）活動の促進を目的に様々な事業を実施している「公益社団法人 日本フィランソピー協会」の表彰です。

佐藤英里さんは、障害者の社会進出を目指す「ゴールドコンサート」など、国内外での音楽コンクールに出場して数々の賞を受賞しています。

音楽活動を通じて人のためになりたい、という英里さんの純粋な思いと行動力への敬意、そして将来の夢実現への応援も込められた受賞です。

《英里さんの活動》

- ★予定していたコンサートが東日本大震災で中止となり、急ぎよ地元で小さな「チャリティーコンサート」を行いました。
- ★「被災地の子どもたちの支援に」というご本人の意向に沿って寄付先を探し、「あしなが育英会」に収益金6万数千円を寄付されました。
- ★2012年7月、東日本大震災被災者の子供たちを元気づけようと、「明るい未来に向かって進んでほしい」という願いを込め、自身で作詞・作曲した初のCDシングル「みらい」を発表。このCDは発売後3か月で1,000枚も売れ、その売上金100万円すべてを「あしなが育英会」東日本大震災義捐金に寄付されました。そして次の寄附に向けて活動を継続されています。

●第8回新潟出版文化賞・選考委員特別賞（新井満賞）

《点訳ボランティア》 紫竹美和子（しちくみわこ）さん 新潟市

受賞作品：「律子の舟」新潟水俣病短篇小説集Ⅰ（ペンネーム 新村苑子）

作品概評：穏やかに暮らしてきた人々を襲った水俣病は、体をむしばんだだけでなく家族の生活も破壊した。そうした状況を様々な角度からわかりやすく登場人物に語らせており、深く考えさせられる力作です。

●にいがた市民文学 文学賞

短歌・一般の部 文学賞

《当館利用者》 上林洋子さん 新潟市中央区
受賞作品のタイトル名：「百合の香」



コント・一般の部 文学賞

《当館利用者》 古俣キヨさん 新潟市中央区
(ペンネーム 小林キヨ子)
受賞作品のタイトル名：「ナビ母さん」

4 連載・新潟県点字図書館のあゆみ

「わたしと新潟県点字図書館 第12回（完）」（山本 安光）

この連載は、元新潟県点字図書館の職員で、現在も点訳図書製作で触読モニターをしていただいている山本安光様のご協力が始まり、むかしの記憶を1つ1つ掘り起こしていただきここまで来ました。

平成に入ってから3つの大きな変動も、①パソコン導入②運営の民間委託の記述が終わり、残すは今回のデイジー図書となります。今回は山本様から私（点字図書館・山形）が引き継ぎ、この連載を終了させていただきます。これまでの山本様のご厚意に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

デイジー図書の前進である音声訳図書（当初は録音図書）は、昭和4年蓄音機で再生するトーキング・ブック・レコーダーがアメリカ点字出版所で製作されたのが始めのようです。日本では昭和32年徳島県立図書館で声の図書館が発足し、翌年の昭和33年に日本点字図書館がテープライブラリーを開設しました。新潟県点字図書館が録音図書をオープンリールテープ（アナログ方式による音声記録された幅約1cmのテープが直径10cm程度のリールに巻きついたもの）で貸出しを開始したのが昭和41年頃からです。

オープンリールの貸出しに当たっては、貸出希望があったタイトルのマザーテープから、その都度貸出用テープにコピーしなければならず、手間と時間を要したため1回の貸出しは4巻程度と制限を設けていました。

以下に、昭和44年度から5年毎の録音図書の貸出状況と貸出環境の変化を整理してみます。

●昭和44年 録音図書貸出実績147巻

録音テープは、オープンリール方式から手軽に扱えるカセット方式に変わってきました。

●昭和49年 録音図書貸出実績827巻

カセットテープでの貸出しがどんどん増えて来ましたが、オープンリールのマザーテープからその都度コピーをしていたため繁忙を極め、4巻程度という貸出制限を軽くすることはできませんでした。

●昭和54年 録音図書貸出実績4,125巻

●昭和59年 録音図書貸出実績5,576巻

カセットテープのコピー機の整備により、昭和61年からカセットでのマザーテープ製作が始まり、カセットテープへのコピー作業が各段に早まりました。

●平成元年 録音図書貸出実績24,903巻（内雑誌7,412巻）

カセットテープによる定期刊行雑誌の貸出しが定着してきました。そして平成元年から新潟県点字図書館オリジナル雑誌「トピックス悠久」（週刊）の製作が始まりました。

この頃から録音済みの貸出専用カセットテープの製作・整備を進めたことにより、貸出し時にマスターテープからのコピー作業がなくなりました。

●平成5年 録音図書貸出実績40,511巻（内雑誌17,491巻）

平成9年3月に点字図書館が現在地（新潟市江南区亀田向陽）へ移転した後、カセットテープのタイトル毎の郵送ケース化が進みました。

●平成10年 録音図書貸出実績93,979巻（内雑誌31,812巻）

平成11年にデジター図書の貸出しが始まり、平成13年にはコンピュータによる蔵書及び貸出管理が始まりました。

●平成15年 録音図書貸出実績19,636タイトル、115,802巻（内雑誌1,225タイトル、39,104巻）

デジター及びカセットの録音図書と雑誌が充実してきました。

平成16年には、雑誌の種類が週刊8誌、月刊40誌になるとともに、CD雑誌の貸出しが始まりました。

平成18年にデジターのダイレクト録音（マザーテープのデジター化）が始まりました。

この頃からサピエ図書館（当時ないーぶネット）が全国施設へ普及したことにより、県外からの借受図書の貸出しが増加してきました。

- 平成 20 年 録音図書貸出実績 43,833 タイトル、79,939 巻（内雑誌 19,144 タイトル、30,995 巻）

カセットテープが減少する一方でデジター（CD）の増加してきたことにより、貸出巻数は減少してきましたが、貸出しタイトル数は増加しています。

平成 22 年に音声解説 CD（市販 DVD に合わせた音声解説 CD 版）の貸出しが始まりました。

- 平成 24 年 録音図書貸出実績 47,858 タイトル、59,541 巻（内雑誌 22,317 タイトル、26,051 巻）

平成 23 年から音声データ配信サービスが始まり、利用者自身がインターネットを通じ直接音声データをダウンロード出来るようになりました。現在、現物のデジター図書の貸出しは減少しています。これは直接サピエ図書館から図書データをダウンロードしている利用者が増えてきているためと考えます。これも点字図書館による利用者サービスの向上であり、情報格差を縮小する上でも、このような利用がどんどん増えていくことを望んでいます。

情報のデジタル化技術や情報機器が進歩・発展し、私たちを取り巻く情報環境は著しく変化してきています。視覚障害者のための情報提供施設である当館の機能も、その変化に対応し進化させていかなければならないと考えています。

今後とも利用者、ボランティア、関係機関の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

5 12月・1月登録の新刊製作ボランティアの皆さん紹介 （五十音順敬称略）

【点訳】（25名）

荒井礼子/石井滋子/石田絢子/加賀登志子/鹿住富美子/金平美鈴
木伏美佐子/小林みつ子/小森和子/周佐慶子/高橋朗子/滝沢和子/田沢鈴江
田邊幸子/田辺のり子/長井文子/永松九子/平井仁美/堀水克也/増田清江
三間榮治/宮川絢子/弥田カウ/山本喜美子

【音声訳】（17名）

稲富かつ子/植村泰子/加藤美起子/川瀬玲/久我礼子/窪田佐代子/斉藤正子
酒井智子/新保裕美子/須藤幸代/高成田トシエ/高橋憲子/羽賀あみ

早川京子/前田久美子/山田草子/山田恵子（水声会）

【デイジー編集】（6名）

狩谷ケン子/柴田弘子/中村一江/林章子/横山トシ子/吉岡廣子

6 点字図書館から

●寄贈を受けた図書を紹介

寄贈を受けた次の図書の貸出しを行いますので、希望される方はその旨お申込み下さい。

(1) 株式会社・資生堂から寄贈を受けた図書（各 1 部）

- ★点字版・資生堂のスキンケア（女性）
- ★点字版・資生堂のメーキャップ（女性）
- ★点字版・資生堂のヘアケア&ボディケア（女性・男性）
- ★点字版・資生堂のメンズケア（男性）
- ★CD版・資生堂のスキンケア（女性）、メーキャップ（女性）、ヘアケア&ボディケア（女性・男性）、メンズケア（男性）

(2) 公益財団法人すこやか食生活協会から寄贈を受けた図書

- ★「よりよい食生活のために一実践の手引き」（点字・拡大文字兼用図書・SPコード付き、上・下巻各 1 部）

この冊子は、視覚障害者が自立した食生活を営むことができるよう、「食生活の質の高め方」、「食事のとり方」、「食品衛生」、「災害への備え」について、その重要性と実践方法が解説されています。

また、すこやか食生活協会では、この図書を希望される方に先着順で進呈しています。ご希望の方は電話又はファックスで下記へお申込み下さい。

公益財団法人 すこやか食生活協会

TEL 03-5641-5311 FAX 03-5641-5312

●第 150 回 芥川賞・直木賞受賞作の貸出予約を受け付けています！

第 150 回芥川賞・直木賞（日本文学振興会主催）の選考会が1月26日に開かれ、直木賞に朝井まかて（あさいまかて）さんの「恋歌（れんか）」と姫野カオルコ（ひめのかおるこ）さんの「昭和の犬」が、芥川賞に小山田浩子（おやまだひろこ）さんの「穴」が決定しました。

何れの作品も貸出し予約を受け付けていますので、ご希望の方は当館へお申込みください。

作者と作品の紹介

★ 朝井まかてさんは、1959年大阪府羽曳野市（はびきのし）生まれ。2008年「実さえ花さえ」で第3回小説現代長編新人賞奨励賞受賞。2013年「恋歌」で本屋が選ぶ時代小説大賞2013を受賞。

受賞作の「恋歌」は、明治時代に歌人として活躍した中島歌子の半生を描いた歴史小説。江戸から水戸藩士に嫁いだ彼女は、自身も内乱の激動に飲み込まれていく。過酷な日々で彼女の心を支えたのは、恋焦がれて一緒になった夫の存在だった…。「本屋が選ぶ時代小説大賞2013」にも選ばれた良作で、ダイナミズムある時代のうねりと、芯のある女性の細やかな心情が、巧みな構成で描かれている。

★ 姫野カオルコさんは、1958年滋賀県甲賀市生まれ。1997年「受難」が第117回直木賞候補。2003年「ツ、イ、ラ、ク」が第130回直木賞候補。2005年「ハルカ・エイティ」が第134回直木賞候補。2010年「リアル・シンデレラ」が第143回直木賞候補。

受賞作の『昭和の犬』は、昭和33年生まれの柏木イクが生きていくなかで色々な犬と触れ合う様子が淡々と描かれる長編。犬とはすぐに距離を縮められるのに家族とは距離が測れずに理不尽に怒鳴る父親や、実の娘に対して妙な間合いを取る母。やがて家を出たイクは、間借り先の家でも犬の散歩を任せられ、犬に接することを通じて他の家庭の事情などにも触れていく。昭和の時代を生きたさまざまな家族の形がぼんやりと浮かび上がり、小説の舞台も平成へと移っていく。

★ 小山田浩子さんは、1983年広島県広島市生まれ。2010年に「工場」で新潮新人賞。

受賞作の「穴」は、夫が異動になったため転居を余儀なくされ、夫の実家が持っている借家に住むことになった「私」を語り手に主人公とする小説。彼女はそれまでの勤めを辞め専業主婦になる。「私」は職にそれほど執着しておらず、夫の母が高齢にもかかわらずいまだ働き続けていることにむしろ負い目を感じるような人物である。新しい家は地名に「字」がつく

ような鄙（ひな）の地だ。自分で使える車がない「私」にとっては、孤立した家で家計をやりくりすることと、夫の母との関係を円満にすることが日々の課題となる。家の近所の川原で不思議な黒い獣に遭遇する。そのへんからぐにやりと世界は歪んでいく。紗のかかった視界の中で風景からはちょっとだけ現実感が失われ、代わりに人を不安にさせるようなものが入ってくる。

●「メールにいがた」別冊「新刊案内」の掲載順等が一部変更されました

前号でもお知らせしましたが、今号のメールにいがた（106号）から別冊「新刊案内」の掲載順等が一部変更されました。ご利用に当たってお間違いのないようにご注意ください。変更内容は、次のとおりです。

- (1) 墨字版及び録音版の掲載順は、最初に録音図書（デイジー、一般CD等）、次に点字図書の順になっています。点字版の掲載順は、今まで通り変更していません。
- (2) 検索番号を点字図書、録音図書等の資料種別ごととし、それぞれの資料種別ごとに1番から付けることにしました。また、番号の前に資料種別の名称（点字、録音）が新たに入りました。

●図書増加目録及び雑誌一覧の提供方法変更のお知らせ

年度別に発行している「図書増加目録」と「CD雑誌一覧」の提供方法を、一般図書と同じ貸出し方式（墨字版は除く。）に改めさせていただきます。なお、お手元に置いておきたい方には、プライベートサービス（有償）での提供とさせていただきます。

また、発行時期については、「メールにいがた」でその都度お知らせします。

(1) 発行する種類

点字図書増加目録：点字版、墨字版

録音図書増加目録：点字版、墨字版、デイジー版

CD雑誌一覧：点字版、墨字版、デイジー版

(2) 貸出しを希望する場合

電話、ファックス、メール又は来館等でお申込み下さい。ただし、墨字版の貸出しは行いません。

(3) プライベート（有償）サービスを希望する場合

★プライベート料

点字図書増加目録：点字版、墨字版とも 1 部 500 円

録音図書増加目録：点字版、墨字版、デイジー版とも 1 部 500 円

CD雑誌一覧：点字版、墨字版、デイジー版とも 1 部 200 円

★申込み方法

電話又は来館でお申込み下さい。希望する種類、点字・墨字等の区分、部数、金額、支払方法等を申込み時に確認させていただきます。

★来館による料金の納入方法及び引渡し方法

料金納入と引き換えでお申込み資料をお渡しします。

★来館以外による料金の納入方法及び引渡し方法

①お申込み内容に基づき、請求金額等を記入した振込用紙（郵便振替用紙）を当館から発送します。

②送付された郵便振込用紙で請求のあった金額をご入金ください。（その際、郵便振替手数料が必要となります。）

③ご入金を確認した後、当館から現物を発送します。

●最新版の「図書増加目録」及び「CD雑誌一覧」発行のお知らせ

図書増加目録（平成 23 年度）及び雑誌一覧（平成 25 年 9 月版）を 2 月下旬に発行します。貸出しを希望される方及びプライベートサービスを希望される方は、その旨お申込みください。

●平成 26 年度のデジタル音声再生機（プレクストーク）貸出し手続き（新規・更新）のお知らせ

当館では、デジタル音声再生機（プレクストーク）の貸出を行っています。この貸出しは、一人でも多くの当館利用者にデイジー図書の快適さを実感してもらったり、その操作に慣れていただくために実施しているものですが、毎年 3 月に貸出更新手続きを行っています。

平成 26 年度に新規で借受けたい方、継続して借受けたい方の手続きを次により行いますので、ご協力をお願いします。

(1) 新規に借受けを希望する方

2月28日（金）までに当館へ電話、ファックス、メールでお申込みください。お申込みの際は、氏名、性別、年齢、住所、電話番号、障

害の程度、市町村が実施している日常生活用具給付事業利用の可否をお知らせください。

(2) 継続して借受けたい方

2月28日（金）までに当館から、利用状況並びに返却又は継続借受希望等を電話で確認させていただきます。当館開館時間中に電話対応が困難な方は、電話連絡の都合がよい時間を2月22日（土）までにご連絡ください。

(3) 貸出決定方法

貸出台数に限りがありますので、視覚障害の程度、日常生活用具給付事業利用の可否、借受理由等を参考に、優先度の高い方から決定させていただきます。

(4) 貸出期間

平成26年度内での必要期間に限っての貸出となります。

(5) 借受けに当たっての条件

★借受けている方が、3か月以上にわたってデイジー図書、デイジー雑誌、一般CDの利用がなかった場合は、機器の貸出しを中止する場合があります。

★年度の途中で、優先度の高い方から申込みがあった場合は、優先度の低い方から順に返却してもらうことになります。

★借受者の過失により故障した場合、その修理費は借受者の負担になります。（マニュアルに沿った通常の使用方法で故障した場合は、当館が負担します。）

★機器の送料は、借受者の負担となります。

(6) 申込み・照会先

新潟県点字図書館 デジタル音声再生機貸出係

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1

TEL 025-381-8111 FAX 025-381-8115

E-mail tosyo@ngt-shikaku.jp

●不要になった書換え可能なCD（CD-RW）のご提供・ありがとうございます！

省資源型事業の推進や当館運営経費の節減を図るため、前号のメールにいがたで書き換えが可能なCD（CD-RW）で不要になったもののご提

供をお願いしたところ、1月末で50枚程ご提供いただきました。温かいご協力をありがとうございました。

引続きご提供をお待ちしておりますので、ご協力よろしく申し上げます。枚数が多く郵送用ケース等が必要な場合は、当館までご連絡下さい。

7 Q&A

利用者の皆様から寄せられたご質問やご意見に、お答えします

Q： 5種類ものCD雑誌を借りています。その時々トレンド情報が得られ毎回楽しく聞いていますが、仕事や用事が重なったりする時は、長い期間借りたりします。このような場合、点字図書館ではどんな支障が生じますか。返却期限は延ばしてもらえますか。

A： CD雑誌の返却期間は、週刊誌2週間、月刊誌3週間となっています。仕事や家庭の用事が重なり、この期間で聞くことができない場合もあるかと思えます。このような時は、点字図書館へご連絡下さい。事情に応じて返却期間の延長をさせていただきます。

しかし、最近返却の滞っている事例が目立ち始め、CDやCD郵送ケースが在庫不足となる状態が時々発生しています。可能な限り期限内での返却をお願いします。

Q： デージー図書を聞くために、点字図書館からプレクストークを借りて使用していますが、故障した場合その修理費はどうなるのでしょうか。

A： 音声の劣化がなく、使い勝手が良くて、誰でも気軽に聞けるデージー図書の利用を促進するため、当館ではプレクストークの貸出しを行っています。借受中に機器が故障した場合、その修理費は、平成26年度から次のような取扱いとさせていただきます。

★マニュアルに沿った通常の使用方法で不調となった場合は、点字図書館の負担で修理します。

しかし、落下、無理な操作など、異常な状態での使用が原因で故障した場合（借受者の過失によって生じた故障）は、借受者の負担で修理をしていただきます。高価な機械ですので、丁寧な使用をお願いします。

★シナノケンシでは、修理期間中に代替機の貸出しサービスを実施しています。

※プレクストークお問合せ窓口 050-5804-1177

8 開館及び電話受付時間と2~4月の休館日

●開館及び電話の受付時間

午前9時～午後5時

●2~4月の休館日

★2月の定例休館日

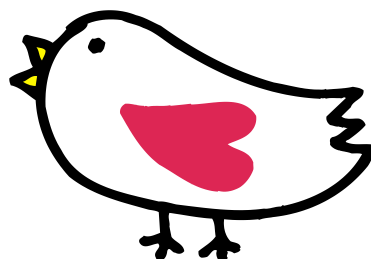
3日(月)・10日(月)・12日(水)・17日(月)・24日(月)

★3月の定例休館日

3日(月)・10日(月)・17日(月)・22日(土)・24日(月)・
31日(月)

★4月の定例休館日

7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)・30日(水)



【編集後記：次の世代に】

昨年、二人の孫（外孫と内孫）を授かり、今年の新年はおめでたく・賑やかに迎えることができました。

しかし、35年前に私たち夫婦が最初に子供を授かった頃に比べると、子供たちの遊ぶ姿を見かける機会が本当に少なくなりました。急激な少子・高齢化が進んでいる日本、このまま推移すると2060年の我が国の人口は、8,700万人を割って現在より3割以上も少なくなり、65歳以上の人口が全体の約40%を占めると推定されています。

孫を授かった今、将来を担う次世代の子供達に、私たちは今何をすべきか、何を残してあげるべきか、改めて考えさせられています。

（肥田野）

メールにいがた（新潟県点字図書館だより）
（第106号2014年2月）
発行 新潟県点字図書館

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1
新潟ふれ愛プラザ内
TEL 025-381-8111 FAX 025-381-8115
E-mail tosyo@ngt-shikaku.jp
URL <http://ngt-shikaku.jp/>

日常生活支援機器情報コーナー (no.10)

「混乱時の情報取得」

今回は混乱時の情報取得について考えてみたいと思います。

1月3日にJRの沿線火災で新幹線のダイヤがかなり乱れました。私は夜の新幹線で京都から東京に戻る予定になっていました。一日中外出をしていたので日中のニュースは全く見ていませんでした。新幹線の予約時間を確認しようと思い、スマホを起動すると「新幹線運休または遅延」と書かれています。しかし、実際にどの号数が遅延しており、どの号数が運休したかなどは書かれていません。

まずは京都駅の新幹線改札口の前に急いで行きました。改札の前はものすごい人。駅員に聞くにもたくさんの方が並んでどんどん聞いているので、全く割り込む余地がありません。電光掲示を見てもらっても何々号遅延と言ったことが書かれているだけで、それは何分遅延なのかもわかりません。また、掲示板に出ている新幹線も10本ほどしか出ておらず、それ以降の新幹線は表示されていませんでした。

そこでスマホを使って「サイバーステーション」のホームページにアクセスしました。すると号数を指定すると「博多と小倉の間」とか「広島に停車中」とかちゃんと表示されるではありませんか。この情報を元に当分来ないことを確認し、喫茶店で時間を待ちました。喫茶店でホームページに入ると「岡山停車中」などとわかるため、電車はどんどん京都に近づいているということは確認できます。そして、何分遅れであるかもホームページには表示されていました。「新神戸を出発」というのを確認し、急いでホームに上がると、しばらくして私の乗る新幹線が入線し、3時間遅れで無事に東京に戻れました。

駅では得られなかった情報がスマホを介してリアルタイムにより詳細に確認できるということに私は非常に驚き、ICT技術の便利さを痛感いたしました。しかし、問題点もありました。ホームページのアクセスが集中するため、ページを開いても内容が表示されるまで5分以上かかることもありました。また、停車しているという情報にも当然誤差は考えられるため、その辺を理解して上手に情報を活用する大切さを身にしみて感じました。

【記事掲載ご協力及び製品のお問合せ先】

株式会社ラビット代表取締役 荒川 明宏

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-7 スカイパレス 401

電話 03-5292-5644 FAX 03-5292-5645

メール eigyo@rabbit-tokyo.co.jp